

萩原朔太郎大全 2022

令和4年度市川市文学ミュージアム企画展

萩原朔太郎 (1886~1942)

「日本近代詩の父」として知られ、特異な口語表現を駆使した『月に吠える』(1917)は、当時の詩壇に大きな影響を与えた。

月に吠えらんねえ展

「ようこそ！ おもひ まぼろし ことだまの街へ」

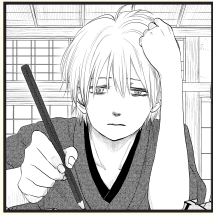
『月に吠えらんねえ』は□(詩歌句)街で暮らす主人公「朔くん」をはじめ、近代日本の様々な文学作品から造形された人物たちが織りなす、人間模様の機微や狂気、幻想が混じり合う世界を描いた作品です。

本展では、登場人物に関する作品やエピソード、萩原朔太郎と文士の交流にスポットをあててご紹介いたします。

また、市川市ゆかりの文士の作品からイメージされたキャラクターたちが登場する清家雪子氏による描き下ろし漫画も展示いたします。

清家雪子原作「月に吠えらんねえ」

萩原朔太郎の作品からイメージされた主人公「朔くん」と、北原白秋や草野心平らの各作品からイメージされたキャラクターたちの交流を描いた、詩人や歌人、研究者からも注目されているファンタジー漫画。2013年〜2019年「月刊アフタヌーン」(講談社)連載。第20回文化庁メディア芸術祭マンガ部門新人賞、2019年度第19回 Sense of Gender 賞大賞を受賞。



主人公
【朔くん】
(萩原朔太郎の作品より)



【白さん】
(北原白秋の作品より)



【ぐうるさん】
(草野心平の作品より)



【ヨッシー】
(吉井勇の作品より)



【カフー先生】
(永井荷風の作品より)

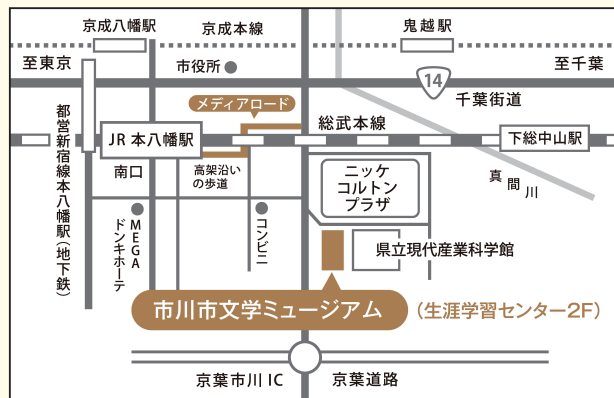
市川市文学ミュージアム

〒272-0015 市川市鬼高1-1-4

市川市生涯学習センター(中央図書館)2階

Tel:047-320-3334 Fax:047-320-3356

<https://www.city.ichikawa.lg.jp/cul06/litera.html>



アクセス JR 総武線 本八幡駅・下総中山駅 徒歩 15分

都営新宿線 本八幡駅 徒歩 20分

京成線 鬼越駅 徒歩 10分

車 京葉道路京葉市川インター下車 5分

※駐車場はありますが、できるだけ公共交通機関をご利用ください

※本八幡駅からコルトンバス(無料)もご利用いただけます

「月に吠えらんねえ」展 関連図書コーナー

市川ゆかりの作家の資料が閲覧できる資料室では、朔くん、白さん、ぐうるさん、カフー先生、ヨッシーのイメージのもととなった作品や関連図書を手に取ってご覧いただけます。(場所:3階資料室、10時~17時、入場無料)

リーディングシアター「月に吠えらんねえ」&アフタートークショー

リーディングシアター出演者:柳沢三千代、福原美波、手島実優、西村俊樹、萩原朔美

アフタートークショー出演者:清家雪子、安智史、栗原飛宇馬

日時:10月30日(日) ①13:00~ ②15:30~

会場:グリーンスタジオ

入場料:1,000円(展覧会観覧料込み)

人数:各回190名(応募多数の場合は抽選)

申込方法:往復ハガキまたは専用サイトにて応募。詳細は広報いちかわ、公式Webサイト、ツイッターにてお知らせいたします。

